

No. 309【2018年6月9日配信】

北上平和記念展示館の軍事郵便 (担当:工藤)

こんにちは！ 室長の工藤です。

先日、岩手県北上市にある「北上平和記念展示館」(北上市和賀町藤根 14 地割 147-3 藤根生活センター内)を訪ねてきました。

この展示館には、戦前・戦中と長く藤根地区で教職に就いていた高橋峯次郎(「高峯先生」と呼ばれていたようです)のコレクションが所蔵され、その一部が公開されています。



北上平和記念展示館



高橋峯次郎像

なかでも目を惹くのは7,000通を超える軍事郵便で、高峯先生の教え子たちが戦地から送ってきた郵便です。高峯先生は『真友』という郷土通信を作成し、兵隊として戦地にいる教え子たちに送り続けていました。それを受けて教え子たちは先生に手紙を送り続けたのだそうです。

展示室は大きくふたつであり、ひとつは高峯先生が収集した軍服などのコレクション、もうひとつが軍事郵便と『真友』などで構成されています。軍事郵便は現物のコピーのほか翻刻文が添えられています。

私が訪ねた日には展示館には館長さんもいらっしゃり、展示資料について解説をしていただき、金庫に保存されている軍事郵便の現物も一部見せていただきました。

また、軍事郵便の翻刻文は藤根交流センターが発行している「交流センターだより『ふじね』」に毎回1点ずつ、そして、その下には展示室を見学した地元の小学生の作文が掲載されていると教えていただきました。館長さんのお話では、もう10年以上続いているのだそうです。地域に残る素材(資料)を活用しての「平和教育」の実践は非常に意味のあることであると思います。

実は、歴史資料室でも軍事郵便、戦時中の郵便物を所蔵しています。しかも、高峯先生の例とおなじくひとりの学校の先生に充てられたものです。現在、これらの整理をしている最中で、夏の「平和」に関する館内展示で紹介できたらと考えています。